

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgery for melanoma metastatic to the gastrointestinal tract.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-12	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ann Surg Oncol.	
	雑誌 ID		
	巻	6	
	号	4	
	ページ	336-44	
	ISSN ナンバー	1068-9265 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1999 Jun;6(4):336-44.	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Agrawal S	Department of Surgery, Columbia University College of Physicians and Surgeons, New York
その他著者 1		Yao TJ	
その他著者 2		Coit DG	
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	消化管転移切除の価値と予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	消化管転移切除患者 68 例 生存期間中央値 8.2 月、5 年生存率：18% 手術による症状緩和 90%（n=61） 多変量解析：根治術（生存期間中央値 14.9 月、5 年生存率 38%）と術前血清 LDH が低値（生存期間中央値 13.6 月、5 年生存率 35%）の 2 点が重要な因子だった。
	結論	消化管転移の切除は緩和を目的とした治療として勧められる。根治術が可能で、術前血清 LDH が低値の場合は、生存期間の延長が期待できる。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 術前血清 LDH が重要な因子であることを示した点で興味深い論文である。